

ありがとう 今年もおかげさまで…

農家さんインタビューコラム

平成24年から始まった水のつながりプロジェクトも今年で5年目を迎えます。その間田植え体験や稲刈り体験でお世話になってきた奈良県橿原市田中町の水土里の会の農家さん3名に吉野川分水や交流事業について話を伺いました。

吉野川分水が完成するまでは水を自分たちの田んぼに引いてくるのに苦労されたとのこと。「吉野川分水ができるまでの間、父親から聞いた話では水をめぐってようケンカしていたらしいですわ。」「私たちの子どもの頃は学校のテスト期間でも田んぼの水当番を任せられたよ。」「水を引いてくる際に線香に火をつけて制限時間を決めたりしていたね。とにかく水に苦労した。それだけ米作りにはきれいな水が大切なんですよ。」吉野川分水ができたことで一番良かったのは昼夜問わず安定的に水を田んぼに引いてくることができるようになったことだと話されました。米の美味しさは水で決まります。きれいな水で育てられた米はつやが違うのだそうです。



写真左から

田中町1区自治会 会長 森田 忠義さん
水土里の会 会長 吉田 宗義さん
田中町2区自治会 会長 西浦 孝次さん

川上村を訪れたことがあるという吉田さんたち、やはり源流の村にはマスやアマゴの溪流魚が多いし、動ききれいな水が家のそばに流れているのをうらやましく思うと話していただきました。

「子どもたちには交流事業を通して、稲がどういう育ち方をするのか、米作りは大変なんだということを肌で感じてもらえたらと思う。それと同時に何よりも育てる楽しさを感じてもらいたいですね。」子どもたちから届いた質問のお手紙を読んで丁寧な回答の農家さんの様子にみなさんもうれしく思っていることが伝わりました。「今度は私たちも川上村のみんなに会いに行きたいね。」

今後も末永くつながる交流であってほしいと思います。
聞き手：岩本 寛生(川上村地域おこし協力隊)

お米が届いた教室から

収穫されたお米が大和平野土地改良区 新井宏巳事務局長より体験校へと届けられました。

橿原市立今井小学校

吉村勝雅校長

川上村立川上小学校

熊谷啓子校長

平野部に暮らし水田を身近にみている子どもたちですが、昔ながらの「田植え」・「稲刈り」で米作りを体験することができました。稲を刈り、束ね運び干すという作業を確かにこなすことへの知恵と工夫と苦労を知り、お米をいただくことができました。教師も、副読本にある吉野川分水について生きた教材として共に学ぶことができ、貴重な財産となりました。お米は、家庭科実習と児童の家庭へそれぞれ持ち帰り、いただきます。



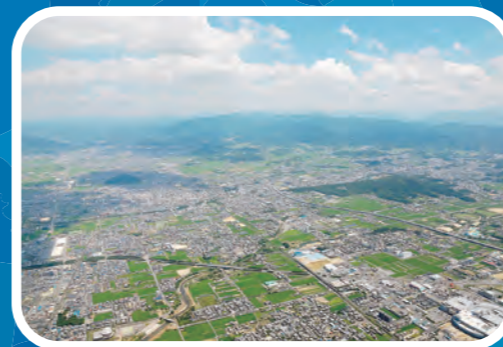
田んぼがない村で育つ子どもたちには、米づくり体験は貴重です。苦労を知り、大切に食べようと思ったようです。いただいた苗を学校のバケツで育てたがうまいかず、水土里の会の方々に質問をさせてもらったり、今井小学校とも体験の日だけでなく、互いに収穫の日を楽しみに平素の交流もできたりと、今年はさらに取組が深まったと思います。お米は、全学年で給食でいただくのと東吉野小学校との合同のお弁当づくりに活用します。

事務局後記

今年も水土里の会をはじめ、多くの方々のご協力により、6月の田植えがスタート。稲刈りが近づく10月には、大きな台風が襲来し、県内で大小の被害を及ぼしました。橿原市と川上村をつなぐ国道169号も長らく通行止めに(2017年12月8日解除)。何より田んぼへの被害が心配されましたが、これも水土里の会のみならず

まに準備をいただき、両小学校の参加で無事に収穫体験を実施することができました。5年目となったこのプロジェクト、続けてきたことで、少しずつ交流の輪や意味の広がりを実感することができた年でした。今年もかかわり、つながっていただいたみなさまに心から感謝を申し上げます。

水のつながり 人のつながり



平成29年度(2017年度) 水のつながりプロジェクト実施報告
主催：大和平野土地改良区・奈良県川上村 協力：奈良県農村振興課 水土里の会(橿原市田中町)

「水のつながりプロジェクト」とは？

平成23年11月、大和平野土地改良区の組合員の方々から川上村に「おかげ米」が贈呈されました。吉野川の水が吉野川分水を経て、安定的に大和平野に届くことで、営農ができるという感謝の気持ちを行動に表した企画でした。

「私たち川上は、かけがえのない水がつくれる場に暮らすものとして、下流にはいつもきれいな水を流します」などを『川上宣言』として掲げている吉野郡川上村の村民にとっても、農家の人々が丹精を込めてつくられたお米を贈っていただいたことに感謝をしました。また同時に水とともに村のおもいが届いたことを大変うれしく思ったのです。その後も大和平野



と水源地域の交流を育み、水でつながった双方のおもいを継承していこうと、平成24年から毎年このプロジェクトが続けられています。

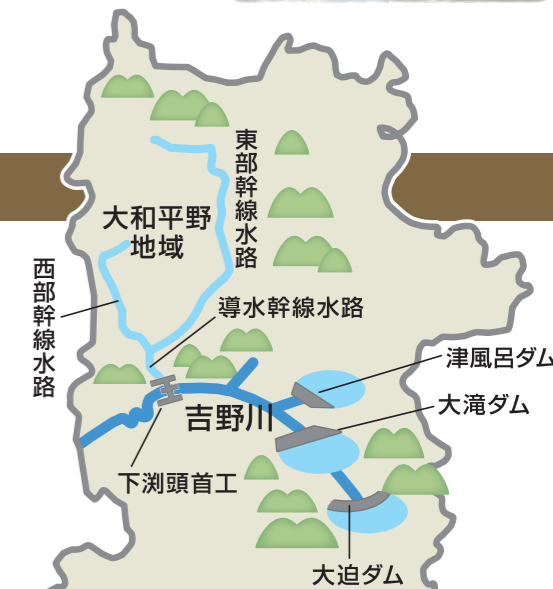
田んぼにとどく水のふるさととは どんどころだろう？

水源地の村、川上村では「下流には、いつもきれいな水を流します」を実践するために、環境基本条例を定め、水源環境を保護するさまざまな取り組みを行って来ています。その第一歩として、源流部にあった手つかずの天然林、約740畝を村有林にしました。「吉野川源流-水源地の森」と名付けられたこの森から、今日も吉野川の最初の一滴が生まれています。ほかにも林業再生に取組み、スギやヒノキの人工林も大切に育て、天然林、人工林それぞれを「緑のダム」と考えて、大切にしています。村民らもまた、できるだけ家庭排水でダム湖を汚さないように心がけています。そんな行動とおもいを持つ村で育つ子どもたちにも、大切な水を下流へ送る誇りと責任に気づききっかけの一つが、この「水のつながりプロジェクト」です。



吉野川分水(よしのがわぶんすい)

大和平野における水不足の解消を目的に実施されたもので、大迫ダム・津風呂ダム・下淵頭首工・平野内水路等の施設から構成されます。これらの施設により吉野川から大和平野に農業用水として導水されており、大和平野の農業水利の安定化に役立っています。また水道用水としても利用されており、これらの水が「吉野川分水」と呼ばれています。大和平野土地改良区では、導水幹線水路、東西幹線水路等の水路及び分水工の管理を行っています。



平成29年度(2017年度)水のつながりプロジェクト

大和平野と水源地域の子どもたちが、互いにそれぞれの地域を訪ねて、体験や見学を行い、交流することで水でのつながりを実感し、互いに感謝することの気持ちをもって地域への学習へと発展することをめざして今年度のプロジェクトが行われました。

参加いただいた学校

川上村立川上小学校

源流体験……………4年生 4人
田植え・稲刈り体験……5年生 6人



橿原市立今井小学校

源流体験……………4年生 31人
田植え・稲刈り体験……5年生 35人

体験指導：水土里の会の農家のみなさん

観察指導：谷 幸三（環境科学博士） 古山 暁（まкруみあ）

第1回(6月13日) 田植え体験

吉野川源流を守るための取り組みをしている川上村の川上小学校と、その水でお米を作っている橿原市の今井小学校の5年生が田植え体験を通じて交流しました。お互いの名刺交換の後、水土里の会の指導で、田植えを行いました。古山暁先生の指導で、田んぼにくらす生き物を観察し、田んぼに守られる生物多様性の大切さも学びました。



- 9:30 開会式
 - ・両校代表挨拶
 - ・大和平野土地改良区挨拶
 - ・参加団体紹介
- 9:45 田植え（指導：水土里の会）
- 11:00 田んぼの生き物観察会ミニ授業（指導：古山暁氏）
- 11:10 閉会式
 - ・両校代表 感想とお礼
 - ・川上村挨拶
- 11:20 終了

子どもたちの声 「友だちができてうれしかったです。」
「イネを植えるのは大変だということがわかりました。」

第3回(10月24日) 稲刈り体験

6月に田植えを一緒に行った川上小学校・今井小学校の5年生が水土里の会の指導で稲刈りを行いました。前日までの雨でぬかるんだ田んぼで悪戦苦闘しながら収穫しました。収穫後、ハザ掛けで天日干しにするところまでがんばりました。



- 9:30 開会式
 - ・両校代表挨拶
 - ・大和平野土地改良区挨拶
- 9:45 稲刈り（指導：水土里の会）
 - ・記念撮影
- 11:15 閉会式
 - ・農家のみなさんへお礼
- 11:20 終了

子どもたちの声 「イネを刈るのは、よごれて大変だった。」
「吉野川分水でできたお米は、絶対においしいと思った。」

第2回(9月8日) 源流体験

吉野川源流の支流、川上村の音無川で川上小学校・今井小学校の4年生を対象に谷幸三先生（奈良県水生生物研究会会長）の指導で、水生生物の観察と環境学習の青空授業を行いました。その後、森と水の源流館で源流の森の大切さを、大滝ダムでダムの治水や利水などの役割について学びました。



- 9:30 開会式（あきつの小野公園）
 - ・両校代表挨拶／・川上村挨拶／・両校交流
- 9:45 水生生物の観察と川の環境学習（指導：谷幸三氏）
- 11:30 昼食
- 12:10 蜻蛉の滝（あきつの小野公園） 発
- 12:20 森と水の源流館見学（今井小学校のみ）
- 13:20 大滝ダム学べる防災ステーション見学
- 14:20 閉会式
 - ・両校代表 感想とお礼
- 14:30 終了（川上小学校は15:00までダム見学）

子どもたちの声 「川はとても冷たくて、景色はとてもきれいでした。」
「どれだけ水のことが大切なのかよくわかりました。」

源流トレッキング (8月17日)

自然環境に興味のある流域の住民を対象に大迫ダムの見学会と「水源の森トレッキング」を実施しました。

吉野川分水の流域より8名の参加者が集まり、大和平野の田んぼの水のふるさと、川上村の大迫ダムや「吉野川源流-水源の森」で楽しく環境学習を行いました。吉野川源流部での河川の清掃活動も行いました。参加者から、吉野川源流を守る森守募金が川上村に贈られました。



- 8:30 大和平野土地改良区事務所出発(バス) - 9:50 森と水の源流館(トイレ休憩) - 10:00 大迫ダム見学 - 10:50 水源の森トレッキング - 13:10 三之公河原ゴミ拾い - 15:30 湯盛温泉ホテル杉の湯にて入浴 - 17:30 大和平野土地改良区事務所着・解散

メディア発信

6月13日奈良テレビ放送・6月14日奈良新聞・6月25日読売新聞・8月18日奈良新聞
9月16日奈良新聞・10月25日奈良新聞